介護代表
・介
して
道」
県で
に関
り天
のサ
受け
「質
ない」
を実
分析
予定
た」
に「各
」は
検査
8か
予定
ら14
目で
た。
人へ
、導
ても
よか
%、
して
くな
りや
が83
価さ

設準備を進めてきたという。

ホームホスピス北海道は現在、22年度内のNPO法人化、道内初ホームホスピス開設を目指して札幌市内に開設地を探している。人材が集まれば運営を維持していくために訪問介護・看護も併設し、外部にも目を向け地域全体を支えていきたいと考えだ。

基調講演で前野宏木岬高徳洲会病院総長が登壇し、パネルディスカッション「地域で看取った方のケアを通して」では一木崇宏ホサナファミリークリニック理事長、吉井みゆき山ざくら代表、大木さやか小規模多機能型居宅介護ホサナホーム管理者、野村志穂同介護福祉士が討論する。

けあぷろふぃーる

札幌清田整形病院

笹木 敦子看護部長

骨粗鬆症の啓発に取り組む

チームで継続した予防・治療を推進

「患者の目線に立ち、一人一人の気持ちに寄り添った看護を提供すること」が大切」。1998年に入職、2010年に現職に就いた。

同病院は91年から片平弦一郎院長の働きかけで、骨粗鬆症の予防と治療に積極的に取り組んでいる。

骨粗鬆症マネージャー資格を有する笹木氏を含む多職種のスタッフ19人が「骨粗鬆症・サルコペニア・リエゾンサービスチーム」を組んで医療を展開。また同病院では毎週木曜日に専門外来を行っている。

骨粗鬆症の啓発運動にも力を注ぎ、病状や適した食事、運動法とともに、病気を分かりやすく紹介した冊子「こつこつ手帳」を配布している。

痛みが落ち着くと通院を辞めてしまう患者も多いため、看護部として個別に電話をかけて治療継続を促す活動も実施している。

「道内の医療施設と連携を図りたい」と17年に札幌骨粗鬆症リエゾンマネージャー研究会を立ち上げ、代表世話人を務める。講演会やワークショップを開催し、全国の研究会とも積極的に連絡を取り合う。

ナー

	求職者数	求		
		病院	診療所	介
保健師	118	0	3	
助産師	63	48	2	
看護師	2,193	1,123	122	
准看護師	227	25	22	
計	2,601	1,196	149	